

# Tokyo Tobihino Rotary Club

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ 東京飛火野ロータリークラブ



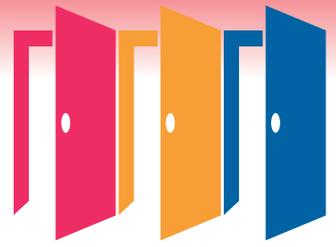
会長 河野 和正



幹事 守重 昌之

会長テーマ  
会員の一步前進はクラブの一步前進  
そして地域社会への社会奉仕の数歩前進へつなげる。

2020>21 Weekly Report vol.33-25



ロータリーは機会の扉を開く

## 2021年3月9日(火) 第1525回 オンライン例会 卓話 於:飛火野RC事務所

■司会 会場設営委員会委員長 仙波秀夫会員

■開会点鐘 直前会長 中澤 洋会員

■ロータリーソング「奉仕の理想」、今月の歌「春の小川」テープに耳を向け。声はなし

■会長報告 直前会長 中澤 洋会員

東日本大震災から10年、コロナ禍で被災地もまだ大変な状況に置かれていますが、災害を忘れずに復興に目を向けてゆきたいです。2月末のミニバスケ大会から各チームは練習を重ね、Aチームは茨城のチームと交流しているようです。

■幹事報告 幹事 守重昌之

- 1.バギオだより83号が届いています。
- 2.例会変更案内、日野・八王子・西・東・南・北RCから届いています。
- 3.日野社会福祉協議会よりペットボトルキャップ寄付のお礼が届いています。
- 4.3月30日例会夜間に変更。中澤会員叙勲のお祝いと岡本会員の歓迎会とします。
- 5.4月20日は昼間の通常例会になり、生沼会委員の卓話です。27日が八王子東との夜間合同例会に変更。

■卓話 私の青春時代 平 良信会員

青春時代と云うと、もう半世紀と前ですが記憶をたどって話したいと思います。中学時代から、大学までの話でその簡私にとって影響を受けた人々を話に出しながら進めたいと思います。

ほとんどテニスに係る話になってしまうかもしれませんが、お聞きください。

・資料の方は、生まれてからの青春時代と関係ないところもあるが、記憶なることを簡単に書いてみました。

「庭球の心得」と「十項目」は高校のテニス部での「金科玉条」です。

七生中学校時代

・中学では軟式テニスと出会い、楽しくて夢中でした。学校が休みの日でも何人が集まり、テニスコートで一日中遊んでいた。練習というより遊びでした。年がら年中テニスをやっていただけあって、多少うでがあがっていたでしょうか…。一年生の秋の日野市の大会ですが二年、三年をさしおいて、完全にまくれですが、優勝してしまいました。これでますますテニスにのめり込んでいったのです。

ちょっと話がそれますが、テニス部の顧問の先生は、出水操先生、鹿児島県出身でテニスコートの隣に住んでいたため、休日などはよく家に呼ばれたりしました。そこで紅茶などをごちそうになったり、レコード等を聞かせてもらったこともありました。「この曲は、ビートルズのイェスタディといって今、世界で流行している歌だ」なんて説明があったりして、可愛がってもらいました。

私の一級上の先輩などはこの先生の家で「ビールをごちそうになった」なんていっていた人もいます。(親われていた先生でした)この先輩は今、日野法人会で会長をやっています。と言えば、皆さんこの先輩とご存じだろうと思いますが…。この人は当時はヤンチャ坊主だったのが、当時からヤンチャ坊主だったと言ったらいいか、この判断は皆さんにお任せします。こんな事をいっていると「平、このやろう」なんて怒られるかもしれませんが。なんせ「このやろう」がログセでしたから。

話をテニスの話に戻します。中学三年の時に練習していると突然、現在高校三年生で七生中学の先輩という人が一緒に練習させてくれと来たんです。当時我々のテニスのかつこうという上下体操着にバスケットシューズ(バッシュ)をはいて、黒い学生

帽をかぶってやっていた人も=ひどい恰好。ところがこの先輩は白い帽子、白いシャツ、その上にセーターを着ていた。このセーターがクリーム色に赤いラインが入って、腹のあたりに日大鶴ヶ丘高校と刺繍が入っていた。テニスズボンにはアイロンがかり、折り目がしっかり入っていた。そしてテニスシューズを履いての身なり。ものすごく恰好よかったです。もういわゆるカルチャーショックを受けた感じでした。

「ああ、オレもあんな格好でテニスがしたい」と本気で思いました。その後も何度か練習に来ていただき、サーブ、スマッシュ、ボレーの基本練習や、練習方法等をしっかり教えてもらいました。この人の影響で七生中は南多摩では敵ナシぐらいのレベルアップにつながったと言ってもいいでしょう。この先輩は朝倉茂さんと言って、以前飛火野RCの元会員に朝倉会員がいましたが、このおじさんにあたる人でした。そして「平君、テニスが強くなりたいんだらうちの高校へ来いよ、練習は厳しいけど、強くなれるよ」なんて言われて、もうすっかりその気になってしまったんです。そして高校進学を決めるときに担任の先生に日大鶴ヶ丘高校に行きたいと言ったら、それもいいけど都立日野高校も受けておけとのこと。日野高は私たちが第一期生になるので、入りやすいようなことを言っていたんですが、もし入ってれば(俳優)三浦友和や(歌手)忌野清四郎と同期で知り合いになっていたかもしれません。結局、日大鶴ヶ丘高校に合格したので、日野高は(棄権した)=受験しませんでした。ちょっと話をえて青春時代の話だから、初恋とか甘い恋の話はなかったのか?なんて質問がありそうですが…。ちょっと話をしたい。

私の初恋の相手は中学の先生でした。大学を出たばかりで私より10歳程度上でした。特別きれいという程ではなかったんですが、いい雰囲気を持っていた先生でした。七中には女の先生は他にもいましたが、アダ名がダルマさん…小さくて太っていた=タレントの渡辺直美さんを小さくした感じ。アダ名がキドリヤ…厚化粧でダメガネがいましたが、あまり人気がなかった。そんな中でこの先生は際立って魅力があったんです。ですから男の先生たちからも人気があったようだし、男子生徒からも大変人気がありました。先程も出したヤンチャな先輩などはオレは先生と結婚すると言っていたから、この先生はその後七生中で先生をしていた人とゴールインして今南平に住んでいます。続いて「同級生との恋はなかったのか?」ですが、当時わたくしは女子とはあまり口をきかなかったんです。当時のコマーシャルで三船敏郎がやっていた「男は黙ってサッポロビール」というのがあって、それがカッコいいなんて思っていた時ですからね。本当云うとシャイで恥ずかしかったです。でもこんなことがあったんですよ。

●隣のクラスの女の子が運動会かなんかで、私を撮った写真をもって裏にサインをお願いします。と来たことがあった。ローマ字が何かでサインしちゃいましたけど…。●それから高幡不動駅(高校の通学時)でバレンタインチョコをもらったりした。(周りに気づかれないようにもらった)なんて記憶があります。●ほかにも高校の時にテニスの練習中コートの金網越しに女の子がいたんです。練習を見ている。誰だろうと思ってよく見ると中学の時の女の子だった。わざわざ高幡不動駅から明大前迄見に来るなんて…。びっくり。こうみると、結構私ももっていたんですかねえ。ちなみに(今出ていた女の子は三人とも別人です)女性の話は以上。

日大鶴ヶ丘高校時代

高校時代はテニス一筋でした。朝は8時までにテニスコートにでて、三面あるコート整備をする。これが日課でした。(ブラシをかける、ローラー引く、草むしりをする等々)。朝のホームルームにはほとんど毎日遅刻という状態。担任の先生からは「お前は毎日遅刻だな」と言われていたが、通知表には遅刻0となっていた。先生も事情が分かっていたくれたみたいです。昼休みも食事せずに、朝の残りのコート整備をする。放課後い

つ先輩がきてもテニスができるようにネットを張っておくという感じですね。じゃあ、飯はいつ食うか。持って行った弁当は休み時間に早弁をしておくわけです。けれど、5時間目が終わるとすぐに食堂に行って、カレーライスなどを食べて腹ごしらえ。練習が終わると、明大前駅前のパン屋でパンを食い、家に帰って、夕飯をしっかりと食う。一日5食ほど食っていたが、全然太らなかつた。当時体重55キロくらい。ちなみに今67キロあります。

#### 高校一年生

テニス部入部してもボール拾いばかり。ラケットを握っても、素振りばかり。それでいて、「金科玉条」の十項目(※資料にある)に照らし合わせて、ファイトがないとか動作敏速でないとか文句をつけて怒られるわけです。怒られるだけならいいんですけど、「とんでこい」と言われる。どういことかというとうさぎ跳びしてこい」です。コート三面ある外側を(一周約百メートル程)を最低一周。ひどいときは三周半なんてこともありました。もう膝ががくがく、ふとももパンパンで駅の階段の上り下りがやっとなんて時もありました。時にはピンタを食らうなんてこともあった。そんな練習でしたから、三十数名が入部したんだけど、あつという間に10名ほどになってしまいました。冬の早朝練習などは家を5:30にでなければならず、真っ暗な中高幡不動駅まで歩いてたんですが、星がきれいに輝いていたのを思い出します。

ここで一曲

♪ 空には三日月 練習帰り

思い出すのは ミスばかり

会わなきゃよかった タベのあなた

これがスランプのはじめでしょうか ♪

芸者ワルツの(こんな)替え歌をうたって憂さをはらしていたというが、応援歌というか。因みに、この替え歌は4番まであるんです。一応聞いてみたい方は酒でも飲みに行ったときに、リクエストされれば、披露できると思います。

二年生になると、だんだん上達し、力がついてきて私は後衛でしたが、前衛には野口英生というしっかりしたペアを組んでもらえた。この男は勝負強い男。テニスもそうですが、ボーカー、ブラックジャック、オイチョカブ、チンチロリンなども賭け事は強かった。というのは(雨で練習がないときは、部室にこもって皆でよくやっていた。先生にバレないようにやっていたのはもちろん)。平、野口ペアになってからは、校内では3年生に負けにくいになっていた。(この時の3年はあまり強くなかったこともある)。またインターハイに出場したOBにもたまに勝てるようになった。かなり腕が上がってきたんです。公式戦でもそこそこの成績が残せるようになり、他校の人からも平・野口ペアの名前を覚えてもらえるようになってきた。

高校三年生になって、ここから少し自慢話になってしまいますが、お許しを願います。3年間の目標にしてきたインターハイ(全国大会)の予選が始まります。野球でいえば、甲子園です。東京都ではテニスのチームは約1200チームほどできる。その中でインターハイ出場枠は12チームです。100分の1の割合になります。狭き門です。わが校テニス部の歴史の中でもいままで、インターハイ出場できたのは4チームのみで簡単なことではありません。トーナメントですから、一度負けたら終わりですが、私たちのチーム(平・野口ペア)16本まで順調に勝ち上がりました。あと一回勝てばインターハイ出場決定でしたが、8本決めの試合でもあぶなげなくゲームカウント3-1とリード。あと1ゲームとれば……。というところで「フツ」と頭をよぎったんです。「かっこよく勝とう」なんて。それまでは相手の弱点をうまくつけて、ポイントを挙げてきたのを、自分からペースを変えてしまい、結局ファイナルゲームを落として敗戦。その後、敗者復活戦を勝って、結局インターハイ出場が決まりました。⇒3年間の目標達成です。

インターハイは広島県での大会で、原爆ドームのそばの県営テニスコートで行われました。1回戦の相手は岡山県代表で県の新人選で優勝したらしいチームでした。強かった!結果はゲームカウント4-2そこそこの勝負でしたが、負けました。(1回戦敗退ということ)。その後、国体予選が始まるんです。国体出場については先輩たちはうるさく言いませんでした。なぜならわが校のチームが国体出場を果たしたことがなかった。何しろ東京都から3チームしか出られない。この大会の予選は東京

を五ブロックに分けて、そこでブロック優勝した5チームが今度リーグ戦をしてその中の優秀な3チームが国体に出られるというものです。私たちペアは順調に勝ち進みまして、ブロックの決勝で東京都NO.1のチーム(巣鴨高)と当たった。マッチポイントをとられて、これで負けて終わりかと覚悟したんです。ところがこれを切り抜けてファイナルゲームも取り、勝ってしまった。ブロック優勝です。この後、リーグ戦4試合が大変でした。真夏の炎天下、すでにトーナメント戦3試合をやったからの試合。リーグ戦は5チームともブロック優勝してきたチームなので、接戦が続く。勝つにしても負けるにしても、時間がかかる。

この時今でも思い出すチーム戦がある。それは都立田園調布のチームです。相手の後衛に対し、こちらが打っても打っても相手が変な格好しながらで、癖玉をかえしてくる。試合時間の長いことかかる大接戦でした。1ポイント終了するたびに、私も相手後衛もしゃがみこんでやすむ有様でした。なにしろこの時代水を飲むと、疲れるから飲むな!の時代。水を飲まないで炎天下数時間もに渡り、ハードな動きをする。きつい練習をしてきた私でも完璧にバテました。結局この日7試合をして、トーナメント3勝、リーグ戦は1勝3敗で国体には行けずでした。(あと一つ勝っていれば行けたかもしれない)。そしてシーズンが終わると東京体育館で、この1年間の成績発表。観衆の前でトップ10までのランキングの発表、表彰式があるんです。結果は私たちペアは8位でした。これには自分で自分をほめたいと思います。大変満足した結果でした。

#### 日本大学時代

大学に入ってもテニスは続けました。学連ではやらず、母校のOBで作った「日鶴ファイトクラブ」に所属して、一般人として試合に出ていたんですが…ある時先輩が平に頼みがあると来たんです。「女子高のテニスコーチをしてくれ」「俺の後を引き継いでくれ」とのことでした。私はすぐにお断りしました。男は黙っての男が女子高のコーチだなんて…

しばらくして、飯食って帰ろうと先輩に誘われました。よく覚えています。JR武蔵小金井駅南口に小さな中華料理屋、店名 娘娘(にゃんにゃん)で餃子ライスをごちそうになった。すごくうまかった餃子。そこでまた、コーチ頼むと言われて、断れなくなりました。正確に言うと、餃子2人前+ライス1人前です。これで買収された感じでした。この女子高は、練馬区内にあり、西武新宿線 武蔵関駅にある東京女子学園という高校でした。ここで、元コーチで中央大の先輩や、早稲田大学の先輩と知り合うわけです。この人たちは、社会人ですが、練習を手伝いに来てくれたんです。早稲田の先輩は防災関係の会社に勤めていたんですが、なんと平吹さんと知り合っていたそうです。平吹さんとロータリーで知り合ってから、このことがわかりました。世の中狭い!この方は椎野さんといって、酒が好きでよく飲み連れて行ってもらいました。赤ちょうちんからスナック、クラブに至るまで、飲み代はすべて椎野さん持ちでした。(会社の経費をうまく使っていたかも?)

クラブは吉祥寺No.1の高級クラブ 店名 プレジャだったのを覚えている。お客はみな、スーツにネクタイ。私だけ、トックリのセーターでの客でした。この頃から女性と上手く話をなるようになった気がする。いい勉強をさせてもらったと思います。ということで私の青春時代はこんな感じでした。ご清聴ありがとうございました。

■謝辞 会長 河野和正会員

■閉会点鐘 会長 河野和正会員

#### ニコニコメッセージ

平 良信さん…結婚記念日の肉をいただきました。ありがとうございました。

仙波秀夫さん…ワクチン接種がスムーズに進み、早くリアル例会が開催できるようにならないかなど…思います。平さん卓話楽しみにしています。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1525回	23	17	4	-	2	-
第1523回	22	23	0	0	0	-

#### ニコニコBOX

本日 12,000円 累計 492,918円

本年度目標額1,200,000円 達成率41.0%

※今週のメイクアップ 渡邊さん、河野さん、水野さん、谷さん

※先々週の後メイクアップ なし